

就労継続支援A型事業所におけるスコア表 (全体)

事業所名	障害者支援センターアップドウぎのわん
住所	沖縄県宜野湾市真志喜2-4-3M sビル301
電話番号	098-943-5357

事業所番号	4710900574
管理者名	豊嶋 修
対象年度	令和7年度

(I) 労働時間		点
①1日の平均労働時間が7時間以上		55
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	○	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動		点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		50
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(III) 多様な働き方 (※)		点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計 (注1)		点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(IV) 支援力向上 (※)		点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		5
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		5
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		5
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		5
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		5
人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		5
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		5
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		5
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)		点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(V) 地域連携活動		点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10

1事例以上ある場合:10点

(VI) 経営改善計画		点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0

期限内に提出していない場合:-50点

(VII) 利用者の知識・能力向上		点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10

1事例以上ある場合:10点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	145	点 / 200点
----	------------	----------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (実績 I ~ IV、VI)

(I) 労働時間

前年度 (7 年度)

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	12,851.5	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	2,717	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.73	時間
-----------------------------	----------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

(II) 生産活動

会計期間 (4月~翌3月)

前々々年度 (5 年度)

生産活動収入から経費を除いた額	8,074,250	円	利用者に支払った賃金総額	12,303,963	円	収支	▲ 4,229,713	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

前々年度 (6 年度)

生産活動収入から経費を除いた額	13,542,890	円	利用者に支払った賃金総額	12,316,528	円	収支	1,226,362	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度 (7 年度)

生産活動収入から経費を除いた額	15,011,067	円	利用者に支払った賃金総額	12,348,327	円	収支	2,662,740	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度 (7年度) における取組 (全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載)

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度 ◎免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を定めている	②利用者を職員として登用する制度 ◎利用者を職員として登用する制度を定めている	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている
④フレックスタイム制に係る労働条件 ◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	⑤短時間勤務に係る労働条件 ◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	⑥時差出勤制度に係る労働条件 ◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 ◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	⑧傷病休暇等の取得に関する事項 ◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	

(IV) 支援力向上

前年度 (7年度) における取組 (全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載)

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 ◎研修計画を策定している ◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 ※研修名: 虐待防止・身体拘束等の適正化に関する研修 研修講師 土屋 徹さん 実施日・受講者数 3月 24日 10人	②研修、学会等又は学会誌等において発表 ◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している ※研修、学会等名 実施日 月 日 ※学会誌等名 掲載日 月 日 発表テーマ	③視察・実習の実施又は受け入れ ◎先進的事業所の視察・実習の実施している もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ※先進的事業者名 実施日/参加者数 月 日 人 ※他の事業所名 アダマスSA 実施日/参加者数 10月 7日 5人
④販路拡大の商談会等への参加 ◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 ※商談会等名/主催者名 (よろず相談) 日時 5月 19日 内容商品の販売展開方法を相談 (SNS、ひまわりなど) ※商談会等名/主催者名 (商品説明会/互野湾市ふるさと納税事務局) 日時 10月 2日 内容 互野湾市ふるさと納税の返礼品として出品	⑤職員の人事評価制度 ◎職員の人事評価制度を整備している ◎当該人事評価制度を周知している 人事評価制度の制定日 R7年 4月 1日 人事評価制度の対象職員数 2名 うち昇給・昇格を行った者 2名 当該人事評価制度の周知方法 口頭と面談	⑥ピアサポーターの配置 ◎ピアサポーターを配置している ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している ※配置期間 月 日~ 月 日 就業時間 職務内容
⑦第三者評価 ◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関	⑧国際標準規格が定めた規格等の認証等 ◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ※認証を受けた日 月 日 規格等の内容	

(VI) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県 (指定都市・中核市) へ、経営改善計画書へ提出した。
※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	障害者支援センターアップドウぎのわん
住所	沖縄県宜野湾市真志喜2-4-3M'sビル301
電話番号	098-943-5357

事業所番号	4710900574
管理者名	豊嶋 修
対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 障害者支援センターアップドウぎのわん</p> <p>実施日程 令和7年8月～令和8年3月</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要</p> <p>☆当事業所では、沖縄の伝統文化である紅型デザインを取り入れた太鼓に地域資源である「マース（塩）」を活用した返礼品「マース入り紅型風太鼓」の製作を行っている。本製品は、地域の魅力発信と利用者の就労機会創出を目的として企画・製造している。</p> <p>利用者数 等</p>	<p><活動の様子></p> <p>活動内容の追加コメント</p> <p>①紅型風デザイン布の裁断・加工</p>   <p>活動の様子の写真</p>
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい</p> <p>☆宜野湾市障がい福祉連絡会を通して、ふるさと納税返礼品として採用された市内の福祉サービス事業者と協働し、返礼品で地元ぎのわんしをPRして盛り上げると同時に地元企業より材料（布・紐・マース等）の仕入れを行い、地域経済の循環に寄与することをねらいとする。</p> <p>地域にとってのメリット</p> <p>☆地域文化の継承及び地域経済への貢献を図る</p> <p>対象者にとってのメリット</p> <p>☆利用者の安定的な就労機会の確保を目的</p>	<p>・太鼓本体の組立</p> <p>②マースの封入・梱包作業</p>   <p>※ 検品および出荷準備作業工程を細分化し、利用者の特性や能力に応じた役割分担を行うことで、安定した就労機会を提供している</p> <p>成果物の写真</p>
<p><成果></p> <p>実施した結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税返礼品を通して地域・当事業所のPRにつながった ・利用者の工賃向上および作業スキルの習得に寄与 ・地域文化（紅型・マース）の発信につながった ・地域事業者との継続的な協働関係を構築 <p>得られた成果</p> <p>☆利用者の能力と作業意欲の向上につながった</p> <p>課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の強化と品質の均一化 ・新デザインの開発による商品力向上 ・販路拡大（ECや観光施設での販売） ・地域イベント等への出展による認知度向上 	 <p>マース入リストラップ 紅型風太鼓 5冊 障害者支援センター アップドウぎのわん</p>  <p>紅型風太鼓のデザイン。 華やかな色彩がいつもの持ち物のアクセントに！</p> <p>【 掲載サイトの紹介 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼楽天 https://item.rakuten.co.jp/f472051-ginowan/up01/ ▼ふるさとチョイス https://www.furusato-tax.jp/product/detail/47205/6985572 ▼ふるなび https://furunavi.jp/product_detail.aspx?pid=1889723 ▼ANA https://furusato.ana.co.jp/donation/g/e47205-UP01/ ▼JAL https://furusato.jal.co.jp/goods/detail/b7416e6acc8974b9570bb19413260936

連携先の企業等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>就労連絡会で新たに二つのチームを発足し、福祉的就労の課題解決に取り組んできた。①ふるさと納税返礼品の商品開発②障がい者優先調達・工賃向上更に企業とのコラボ商品の開発、業務受託し作業実績の信頼性を得られた事は、大変意義ある成果と言える。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の一般就労の促進・JVによる企業と福祉の共同 ・福祉的就労の実質的工賃向上・次のライフステージに向けた支援の質の向上 			
連携先企業名	宜野湾市自立支援協議会就労部会部会長	担当者名	NPO法人TANOSHI-KU 理事長 知念忠昭様

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	障害者支援センターアップドウぎのわん	事業所番号	47109000574
住所	沖縄県宜野湾市真志喜2-4-3M'sビル3F	管理者名	豊嶋 修
電話番号	098-943-5357	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所</p> <p>☆障害者就労支援センターアップドウぎのわん(A型事業所)</p> <p>実施日程</p> <p>☆令和7年4月～令和7年12月</p> <p>実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要</p> <p>☆A型施設外就労参加・一般企業見学・体験</p> <p>☆ハローワーク・障害者就業・生活支援センター花灯からの情報提供</p> <p>☆フェイスシート作成</p> <p>利用者数等</p> <p>☆利用者1名</p> <p><目的></p> <p>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい</p> <p>☆A型事業所で5年1ヶ月間利用し出勤状況も良好。3か所の施設外就労先へも率先して取り組んでおり、スキルも上がってきている。昨年から一般就労への希望もあり障害者就業・生活支援センター花灯さんの協力も頂きながら一般企業への見学及び職場実習を通して、引き続きマッチングする企業を見つけ一般就労につなげていく。</p> <p>利用者にとってのメリット</p> <p>☆どういった仕事があり、どの仕事から自分に合っているのわからないと相談もあり、ハローワーク相談援助部門や花灯さんから紹介頂いた、求人の企業見学や職場実習を通して自分にあった仕事を見つけていくことがメリット。</p> <p>実施した結果</p> <p>・A社の企業見学は1週間の職場実習はできたが、勤務時間に間に合う公共バスがなかった。D社の企業も公共バスが通らない場所で通勤が困難なため、実習を見送った。</p> <p>得られた成果</p> <p>・自宅から公共バスで通勤できる企業を探すことが難しいと実感できた。家族の方へ現状を相談したところ、父親から運転免許取得(原付免許)する事で行動範囲がさらに広がり就職につながるのではないかと提案を頂き、本人さんも原付免許取得を目標とすることができた。</p> <p>課題点</p> <p>・原付免許取得の費用やスケジュール管理を具体的にしていく。</p>	<p><活動の様子></p> <p>【一般就労を目指して】</p> <p>◎A社：業務内容(クリーニング業)</p> <p>・企業側担当者より業務内容など詳しく説明を受け工場内見学を行い、日程調整後1週間の職場体験を行う事が出来ました</p> <p>結果：1週間の体験を行う事が出来たが、作業環境や通勤での帰りのバス時間などが合わなかった事が要因で応募までに至らなかった</p> <p>◎B社：業務内容(商品の伝票数字合わせ・荷下ろし・家具組立など)</p> <p>・企業側担当者より業務内容の説明を受けました</p> <p>結果：作業内容で苦手な分があり体験の話をするが本人の合意には至らず体験まで進めなかった</p> <p>◎C社：業務内容(病院内厨房での作業)</p> <p>・ハローワークにて相談支援専門員に相談し1件の紹介がありました</p> <p>結果：その場で本人より別の職種希望があり見学するまでに至らなかった</p> <p>◎D社：業務内容(伐採後の荷積み作業)</p> <p>・花灯より見学先の紹介がありました</p> <p>結果：通勤手段で公共バスが通っておらず見学までに至らなかった</p>
---	---

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>・施設外就労を続けながら、障害者就業・生活支援センター花灯さんと連携しながら数か所の企業見学の紹介があり1ヶ所は職場体験まで進む事が出来たが就職するまでに至らなかった。企業側からいい評価も得られていたが、通勤面や作業環境面で本人より断念する意向があったため面接に進める事が出来なかった。今後も通勤手段で公共バスでの通勤や原付免許取得への挑戦などを目標としながら一般就職に向けて進めて行ければと考えています。</p> <p>花灯さん(意見・評価など)</p> <p>・今後もアップドウぎのわんさんと連携を図りながら企業の紹介、見学への繋ぎやモニタリングの参加も行ってきました。一般就労に向けて働きかけも行ってきましたが、居住地周辺での企業が少ない事や、条件に見合わなかった事から今回は1件の就業体験まで行う事が出来たのですが、作業環境や通勤手段で断念となり面接・就職には至りませんでした。今後、原付免許取得を含め条件・優先順位を決めて行き一般就労へつなげられるよう進めて行きたいと考えます。</p>	<p>連携先企業(担当者)</p> <p>連携先：中部地区障害者就業・生活支援センター花灯(担当・中村)</p> <p>評価：障害者支援センターアップドウぎのわん(A型サービス管理責任者・豊嶋)</p>
--	---

利用者からの意見・評価

<p>・本人からは仕事内容や条件面、交通手段などでマッチングして行ければ長く勤める事が出来と思うので、これからも焦らず自分が安心して働ける職場を探して行きたいと話されています。家族の協力も得ながら原付免許の取得も目指して行きたいとの事でした。</p> <p>・家族の方からは安心して働ける企業への就職も良いと考えています。前回の就職先で会社の経営不振で途中解雇された経緯もある為焦らず自分に合う職種や環境を探して欲しいと話されています。自宅に近い所での就職活動で企業が少なく交通手段で厳しいと思う為、今後免許取得(原付免許)する事で活動範囲や視野が広がって行ければ就職に近づいて行くのではと考えています。</p>
--